



源由理子  
明治大学公共政策大学院教授

長年、国際協力の現場で調査・研究に従事。コミュニティ開発と住民参加、評価と地域の価値形成などの課題に取り組む。

**提言1** 快適に暮らせるまちづくり  
**提言4** 「歴史・文化資源等を活かした魅力的な景観のまちづくり」

**提言1 快適に暮らせるまちづくり**

町長 源 それでは、提言1が生まれた過程について伺つてもよろしいでしょうか。

源 はい。町政刷新会議ではいろいろな立場の人が集まり、異なつた見方で町のことを考えました。本当にありとあらゆる意見が出ました。自分たちの町をよくしたいという強い気持ちの表れですね。そういうふた論の中で、コンパクトシティーという意見が出てきました。

**提言2**『子どもの能力を最大限に開拓する』  
田長 寄居町の豊かな景観を守りつつ、これから時代を生き抜くための努力を続けなくてはなりません。寄居町の代表的な歴史・文化資源であります國指定史跡である鉢形城跡のさらなる整備・活用についても検討させていただきます。

町長 寄居町の豊かな景観を守りつつ、これから時代を生き抜くための努力を続けなくてはなりません。寄居町の代表的な歴史・文化資源であります國指定史跡である鉢形城跡のさらなる整備・活用についても検討させていただきます。

「持続不可能な地方自治体、東京と周辺自治体との綱引き」

町長 そう言つていただけだと嬉しいですね。提言書につきましても、うまく要点を絞り込んでいただきました。ありがとうございます。

私が常日ごろ強く感じているのは、現状のままでは持続不可能な地方自治体であるということなんですね。これは寄居町に限つたことではありません。年金や消費税、社会保障をいくら調整しても、表面化していないう不合理を、基礎自治体はたくさん抱えています。右肩上がりが前提となつてゐる戦後の制度設計をベースにしていたのでは、問題は肥大化するばかりです。

例えば、寄居町でも下水道事業を維持・運営するために、毎年一定の赤字を抱えているんです。他にも、国民健康保険の赤字も抱えています。

一方で施設の老朽化の問題もあります。このように、地方自治体では持続不可能な厳しい状況が深まりつづあると認識しています。さらにもつと深刻なのは、東京圏関東一円の周辺自治体との綱引き關係は、東京の一人勝ちに陥っていることについて、誰も問題だと思つてないことです。戦後の制度設計は東京が一人勝ちするようになつてゐる。中心市街地でさえ限界集落になつたときの、さいたま市などのレベルのところを除けばどこでも発生し得ることです。従前の自治体經營が成立しなくなつたときの、国が借金を作り、表向きだけの交付税でつじつま合わせをやつしているに過ぎないんですね。この持続不可能な現状について誰も警鐘を鳴らさないということです。

このような状況の中、寄居町はどうするのかという問題に対しても、町政刷新会議の提言があると思ってい

全国的には少子高齢化が人々と進行している中、寄居町ではすでに超高齢社会に入っています。そのような現状を踏まえ、都市機能を分散させることよりも重点的に集約させることで、人口の集積につながるという結論に至ったわけです。

町長 私も早急な課題として重く受け止めています。中心市街地を活性化させるとともに、町全体の発展も考えなくてはなりません。新しく来てくださる方、そしてこれからも寄居町に住んでくださる方のためにも、町に住んでくださる方のためにも、

提言1は重要な役割を果すべきです。

そのため、大きな転換が必要なため、長期的な取り組みになると思っています。長いスパンの中で、短期的には何ができるのか。戦略的な方向性を考えていただきたく、提言1をまとめました。

また、関連して提言4になるのですが、中心市街地の賑わいを創出するためには、観光客数の増加が不可欠です。地域資源に、より一層の磨きをかけることが大切になつてきま

**方法を模索する** ホンダとの関係をうまく活用する  
源 会議の中で、ホンダとの関係をうまく活用する方法は何かと模索していましたよ。そこで、ホンダの海外生産拠点がある都市と積極的に交流を図ることにより、寄居町のグローバル化も進展するのではないかという案が出て、提言2がまとまりました。

私は自身、高校生のときに留学した経験があるのですが、認識がガラツと変わりましたね。私は日本のことを見てよく知らなかつたんだな、とも思いました。視野が広がりましたね。

町長 実際に肌身に触れて感じた経験は、机上の勉強だけでは決して得ることのできない貴重な財産ですからね。

源 そうですね。最近は内向きになつてゐる傾向もありますし。

寄居町町政刷新会議

「親身」な町政実現の観点から、町の予算、制度、その他町の行政全般の在り方を刷新するとともに、町および町民の役割の在り方の見直しを行うために設置されたものです。

- 提言1 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり**  
～中心市街地を整備し、コンパクトなまちづくりを推進する～
  - 提言2 子どもの能力を最大限に引き出すまちづくり**  
～子どもたちの国際交流機会を創出する～
  - 提言3 町民と行政による協働のまちづくり**  
～地域の担い手が互いに連携できる体制を構築する～
  - 提言4 歴史・文化資源等を活かした 魅力的な景観のまちづくり**  
～鉢形城跡の更なる整備 活用～

**源** 町長 うか。寄居町の最初の印象は、自然豊かで、変遷もないなど、いろいろなところがあります。当町には、町政刷新会議で、幾度かお越しいただきましたが、どのような印象をお持ちでしょ

（寄居町の印象は？）  
町長 まず、寄居町の印象についてお聞きます。当町には、町政刷新会議で、幾度かお越しいただきましたが、どのような印象をお持ちでしょうか。  
寄居町の最初の印象は、自然豊かで大変きれいなところだということですね。私も山梨県出身なので、自然豊かという意味では親しみを覚えました。寄居町が現在抱えている、高齢化や人口の伸び悩みという問題も、全国的に抱えている問題なので、それほど驚きはありませんでした。

（町政刷新会議の感想は？）  
町長 次に、町政刷新会議について伺いますが、先生には、寄居町の初めの試みであります町政刷新会議の会長に就任していただきましたが、そのときの感想などありましたらお聞かせください。